

見つけたよ！秋の収穫「お芋掘り」



秋の恒例行事「お芋掘り」を今年も実施しました。今年は全日程で天候に恵まれ、どの日も延期なく実施。秋の澄んだ青空の下、年少・年中・年長組の子どもたちはバスに乗って広々とした「武田農園」へ向かい、収穫体験が始まりました。畑に到着すると、園児たちはさっそく素手で土に触れ、ひんやり・ふかふかの土の感触を手にいっばいに感じながらお芋を探し始めました。「つめたい」「きもちいい！」と、土の感触を楽しむ声が広がり、自然とのふれあいに心が躍る様子が印象的でした。土を少しずつかき分けると、紫色のさつまいもが姿を見せ、「みて！おっきいのあったよ！」と嬉しそうに先生へ駆け寄る姿も。土の中からお芋が見つかるたびに、畑のあちこちで歓声が上がリ、収穫の喜びを分かち合う笑顔でいっばいでした。

手をまっくろにしながら夢中で掘った秋の一日

ひばり新聞

Hibari

号外

発行月

11月



土に触れるのが少し苦手な子どもも、先生やお友達と一緒に掘り進めるうちに夢中の表情に変わり、「まだあるかな？」と積極的ににお芋を探し続ける姿も見られました。

自分の手で収穫したさつまいもを抱えながら、「はやくたべたいね！」と期待に胸をふくらませる子どもたちの声がほほえましい時間でした。

また、つばさ組の子どもたちは、第二ひばり幼稚園近くのさつまいも畑で収穫体験を実施。初めての体験にドキドキしながらも、土の中からお芋が出てくる瞬間を楽しみ、笑顔いっぱい秋の実に触れました。今年も、自然とふれあい、手を動かし、収穫する喜びを全身で感じられた、実り豊かな一日となりました。

五感で学ぶ「秋刀魚」の食育



年長組では、正課活動「食育」の一環として、今年もさんまをテーマにした学習を行いました。子どもたちが五感をいっばいに使って学べる時間となり、触って・見て・香りを感じて・味わって——と、さんまの魅力をじっくり味わう活動となりました。

まずは、生のさんまを手に取り観察。「つるつるしてる！」「ひんやりして気持ちいい！」と、魚ならではの感触に驚きながら、目で形や色をじっくり見て確かめる姿が見られました。

先生からは、さんまの生態や産地、食卓に届くまでの流れのお話があり、子どもたちは興味津々で耳を傾けていました。

続いて、「命をいただくこと」の大切さについての時間では、先生の言葉を受けて、子どもたちの表情も自然と引き締まり、食と命のつながりについて静かに考える様子が印象的でした。

その後は、焼いたさんまの香ばしい香りが広がる中、骨取りに挑戦。お箸を使って慎重に骨を外し、指先に集中しながら「できたよ！」と嬉しそうに見せてくれました。

実際に味わってみると、「おいしい！」「やわらかいね」と、味覚でもしつかりと秋の味覚を感じる姿が見られました。

今回の活動では、魚をいただく楽しさだけでなく、日本の食文化や命への感謝をより深く感じる時間となりました。

新しい仲間「まなびー&ふむふむ」登場！

ひばり幼稚園に、ひばりちゃんの心強いお友だちが仲間入りしました。

その名も「まなびー」と「ふむふむ」。

これから園での学びや発見を、一緒に盛り上げてくれる新キャラクターです。

まなびーは、「まなぶ楽しさ」を大切にしている元気いっばいのキャラクター。

新しいことにチャレンジするのが大好きで、いつも子どもたちに「やってみよう！」「できたね！」と寄り添いながら応援してくれます。

ふむふむは、「気づきや発見」を喜んでくれる少しおっとりした性格。

「あれ？なんだろう」「ふむふむ……」と、子どもたちの「気づく瞬間」に寄り添うことが得意です。

考える時間を丁寧に大切にしている優しいお友だちです。まなびー・ふむふむは、これから園の活動やお知らせ、イベントなど、さまざまな場面に登場していく予定です。

子どもたちの「まなぶ」「気づく」「たのしみ」を見守りながら、幼稚園の毎日をもっと明るく、もっとワクワクするものにしていく存在。どうぞ、新しいお友だちまなびーとふむふむをよろしく願っています！



今月のお知らせ

まなびー&ふむふむを紹介

まなびー&ふむふむの紹介はInstagramでも公開中！動画で可愛く動く姿もアップしますので、ぜひご覧ください！



@HIBARI_KINDERGARTEN